

安保破棄ニュース

No. 544
2022. 8. 10

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六-六七六三-三三三三
FAX 〇六-六七六三-三八三六
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

地方自治を守り、 「戦争する国づくり」にストップを!

沖縄県知事選2022玉城デニー必勝決起集会

7月31日、那覇市内の沖縄県統一連知事選挙事務所において「沖縄県知事選2022玉城デニー必勝決起集会」が開催されました。

集会では、先ずはじめに沖縄県統一連代表幹事の新垣繁信氏が「日米両政府は来年の広島サミットに向け、何が何でも知事選を制する構えだ」「我々が負ければ、彼らの狙い通り日本は『戦争する国』になりかねない」「しかし我々のたたかいは確実に前進している」「自信をもってたたかえば、確実に憲法がいきる日本にすることができると力強く挨拶されました。

赤嶺政賢氏は、翁長さんの最後の記者会見での「今の日本は国会の上に日米合同委員会があり、憲法の上に日米地位協定がある。こんなことを許していいのか」という言葉を紹介し、まさに問題の根源が日米同盟にあり、この間行われている全ての首脳会談の中では必ず「米軍再編（辺野古新基地建設）が取り上げられ、「辺野古が唯一」と言われるのは「アメリカとの合意が唯一」ということだと指摘されました。

そして、「権力の側にとつては、今度の知事選挙は日米安保がかかった対決である」「自民党大会で『沖縄は安全保障の拠点』と言っている。かつて『沖縄は極東の平和と安全を守る要石だ』と米軍が使ったセリフと同じことを、いま自民党が使っていることに怒りを覚える」と言われた言葉が印象的でした。

その上で、今回は統一地方選挙と同時に知事選挙が行われ、相手側の候補者の方が多いため、セット戦術が採られた場合、大いに注意しなければならぬと引き締められました。

その後全国・地元から11名の方が決意を表明し、「建白書」の実現をめざす玉城デニー知事再選の意義と必勝のための意思統一が行われました。

さらに、閉会挨拶での沖縄革新懇代表世話人仲山忠克氏の発言は、いま私たちが真剣に考えなければならない重要なものだと思いますので、紹介します。

「地方自治」とは何かというところを考えると、

「教科書的には、「地方自治」とは「住民自治」と「団体自治」か

らなる。

それを貫くものは、「自己決定権」だと考える。それぞれの地域で、それぞれの事情があるから、具体的な内容は変わるかもしれないが、「地方自治」が「民主主義の基盤」であるということは間違いない。

沖縄の歴史を振り返ってみるに、

「唐の世」から「やまと世」、「やまと世」から「アメリカ世」、「アメリカ世」から「やまと世」と変遷してきた沖縄の歴史がある。外圧によって運命が決められたのが沖縄の歴史だ。

そういう状況にあって、沖縄の現在と未来をどう開いていくか？それが「地方自治」であり、いま私たちに問われていることだ。

沖縄の現在と未来は、この沖縄で育ち、生活の喜びと苦しみを味わい、そしてこの沖縄で死んでいく、そういう人たちが沖縄の未来を決定する権限がある。

政府が、そういう沖縄の「地方自治」を壊そうとして、いま必死にやっている。

沖縄で「地方自治」が崩れるということは、わが国の「民主主義」が崩れることにもなる。

今度の知事選挙は、わが国の「未来」と「民主主義」と「平和」がかかった選挙だ。

玉城知事が勝てば、沖縄はさらに強固になり、全国で市民と野党の共闘が再生し、さらに強固に全国に広がっていくことへの大きな激励となる。

そして何よりも、わが国の「戦争する国」づくり・憲法を変えていくという策動にストップを掛ける!

そういう意味で、今度の知事選挙は沖縄だけの問題ではない。全国的な課題だ。

相手が国家権力総ぐるみで来るのであれば、私たちは全国民の力を結集して、迎え撃つてはなりませんか。

これらの言葉をシッカリと受け止め、私たち安保破棄大阪実行委員会は今回の沖縄県知事選挙に臨みます。

必ずや玉城デニー知事の再選を勝ち取り、沖縄県の皆さんと

共に日本国憲法が生きる日本の未来と民主主義、そして平和を

確かなものとし、沖縄においては、復帰50年の大きな節目の

今年を、二つの「建白書」に託された「平和で誇りある豊かな

沖縄」実現に向けての確かな一歩を踏み出す年とするために、

共にがんばりましょう。



全国の力で 沖縄県知事選挙勝利を！

沖縄県知事選挙必勝！大阪決起集会



7月23日(土)の午後、国労大阪会館3階中会議室において、「沖縄県知事選挙必勝！大阪決起集会」を開催しました。沖縄とオンラインで結んで、沖縄県統一連事務局長の瀬長和男さんと、名護市平和委員会事務局長の上野郁子さんにお話ししていただきました。オープニングでは、沖縄連帯の歌を大阪のうたごえ協議会の方々に歌っていただきました。

植田代表幹事からの主催者あいさつでは、50年前の沖縄建議書に触れ、新たな建議書を掲げての運動がつけられていることや、沖縄県民調査の結果なども踏まえたいうえで、今回の沖縄県知事選挙勝利に向けての動きを作っていくと話しました。

沖縄県統一連事務局長の瀬長さんからは、今回の知事選挙に勝つことによってはじめて、辺野古新基地建設阻止のための今のたたかいができる最低限の条件ができるということ、万が一負けるようなことになったら、現場での闘いしかないようになってしまうということが話されました。そして、今年が「沖縄復帰50年」ということで、オール沖縄として一緒にたたかえる条件ができています。まさに、

諸団体の取り組み、当面の予定など

- 8月**
- 17日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
 - 20日(土) うたごえ協議会・沖縄本土復帰50年企画・第5次うたごえ沖縄行動(～22日)
 - 22日(月) 大阪安保沖縄県知事選挙現地支援行動(～9/11)
 - 23日(火) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
 - 25日(木) 沖縄県知事選挙 告示(9月11日投票)
- 9月**
- 3日(土) 大阪労連定期大会
 - 11日(日) 大阪自治労連定期大会
沖縄県知事選挙 投票
 - 21日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
 - 22日(木) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

23 宣伝行動

7月の安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を7月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算405回目の23行動となります。10人の参加で、プラスターなどをもったスタンディング、ビラ配布と弁士による訴えを行いました。

弁士は、日本共産党、AALA、平和委員会からそれぞれ出させていただきました。

ビラの内容は「岸田政権の大軍拡・改憲に反対」「安倍国葬は内心の自由侵害」「ロシアのウクライナ侵略反対」でした。

弁士からは、日米安保条約・日米地位協定のひどい実態、ASEANの平和を目指す歴史と平和の東アジア構築に向けた活動、沖縄の参議院選挙の成果と辺野古の問題などを道行く方々に向けて訴えてもらいました。

次回の宣伝行動は、8月23日(火)の12時から、淀屋橋で行う予定です。



本当の意味での復帰をめざす闘いであり、沖縄が変われば全国に波及することなどが話されました。最後には、沖縄から日本の政治の流れを変える、平和の流れを変えるという闘いに協力と呼びかけられました。

名護市平和委員会事務局長の上野さんからは、2010年の稲嶺市政誕生の選挙から紆余曲折があった中での思いなどから話され、今回の参議院選挙で、名護市長選挙でつけられた5000票の差を500票まで縮めたことで、知事選への一筋の光が見えたように思うと話されました。その根底にある「辺野古に基地はいらない」の思いを結集してきた「やんばる島ぐるみ会議」の活動も話され、最後に、「県民ひとりひとりが自分の願いを投票に込めることができるとまっとうな選挙ができるように。平和で安心して暮らしたいという県民の声を選挙に反映できるように頑張って頑張って、玉城デニ―知事勝利と、同時に行われる名護市議選でのオール沖縄の候補過半数の勝利を目指します」と話されました。

この決起集会に、34人の方々が参加し、沖縄県知事選挙活動支援カンパに3万円が寄せられました。

守山事務局長から、カンパの訴えと、現地行動参加などについての行動提起がありました。

コロナのこともあり、現地支援に行くことは難しいという声も聞かれますが、様々な集まりで沖縄県知事選挙のことを話題にし、カンパや寄せ書きを書いて送るなどによって支援の輪を広げることができます。少人数の集まりでも、沖縄県知事選挙の話をさせてもらえる場があれば、是非ご連絡ください。(電話がつながりにくいときはメールかファックスを入れていただければこちらからご連絡させていただきます。)